

# 人権情報プラザ 新着図書一覧 (令和5年12月登録分)



大分県人権啓発イメージキャラクター  
クター こころちゃん

どなたでもご利用できます。

	書籍名・サブタイトル	出版社	著者	出版年	種別	あらすじ
1	日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッション—人種、ジェンダー、性的指向：マイノリティに向けられる無意識の差別	明石書店	スー、デラルド・ウィン	2020	人権総論	著者は、マイノリティの心理学、多文化心理学、マイクロアグレッション理論分野の先駆者。いま新たに注目される差別概念「マイクロアグレッション」の全容がわかる基礎的文献。「あからさまな」差別と対比され、あいまいな、無意識で見えにくい重大な結果をもたらす差別を「マイクロアグレッション」として明確に位置づけ、その内容・メカニズムや影響、対処法を明らかにした。
2	「戸籍」人権の視点から考える	解放出版社	反差別国際運動 (IMADR)	2023	人権総論	日本の戸籍制度は、被差別部落など特定のマイノリティ集団への差別に加担してきた。本書ではこの戸籍制度を取り上げ、「人権の視点」をベースに、さまざまな切り口からその問題点を探る。
3	ジェンダー格差—実証経済学は何を語るか	中央公論新社	牧野 百恵	2023	女性	本書は、実証経済学の研究から就業、教育、政治、解消後の可能性について、国際的視点から描く。議員の女性枠導入＝クオータ制が、質の低下より無能な男性議員排除に繋がる、女性への規範が弱い国ほど高学歴女性が出産するエビデンスなどを提示。旧来の慣習や制度について考える。
4	子ども家庭福祉—子どもと家庭を支援する	ミネルミネルヴァ書房	大津 泰子	2023	子ども	2022年6月に公布された改正児童福祉法などの法令改正や今後の動向など、最新の内容を掲載したテキスト。子どもの人権擁護に関する内容を充実させるとともに、現代社会に生きる子どもと家庭等への支援の現状と問題点も解説。子ども家庭福祉に関する基礎的な内容を網羅した一冊。
5	リエゾン(14)-こどものこころ診療所	講談社	竹村優作/ヨンチャン	2023	子ども	大人も子供も生きづらさを抱える現代。悩める親子に向き合う“児童精神科医”を描く、新たな医療漫画。シリーズ最新刊。「パーソナリティ障害」「修学旅行」「児童養護施設」の3編を収録
6	続 窓ぎわのトットちゃん	講談社	黒柳 徹子	2023	子ども	「最も多く発行された単一著者による自伝」としてギネスに認定。国民的ベストセラー、42年ぶり、待望の続編！国内で800万部、全世界で2500万部を突破した『窓ぎわのトットちゃん』。世界中で愛されている、あのトットちゃんが帰ってくる！泣いたり、笑ったり……トットの青春記。アニメ映画も12月より公開。
7	ヘイトをのりこえる教室—ともに生きるためのレッスン	大月書店	風巻 浩/金迅 野	2023	子ども	多様性や人権が語られる反面、新たな形の差別や偏見が社会をむしばむ。そんな時代を生きる若者たちに、大人は何を伝えられるだろう。神奈川県で反差別と多文化教育に取り組む2人からのメッセージ。
8	水車小屋のネネ	毎日新聞出版	津村 記久子	2023	子ども	2009年「ボスライムの舟」で芥川賞を受賞した著書による、第59回谷崎潤一郎賞受賞作。「家出ようと思うんだけど、一緒に来る？」身勝手な親から逃れ、姉妹で生きることになった理佐と律。ネネのいる水車小屋で番人として働き始める青年・聡。水車小屋に現れた中学生・研司…人々が織りなす希望と再生の物語。
9	マンガでわかる！認知症の人が見ている世界(2)	文響社	川畑 智	2022	高齢者	コロナ禍で大きく変わった「認知症ケアの新常識」が学べる最新刊！マスクをつけてくれない。入浴を嫌がる。ゴミをため込む。「生きていたくない」という。自分の子供に気づかない…。など、困った言動の理由と最善の対策がわかる！認知症の人への誤解を解く本 待望の第2弾。
10	マンガでわかる！認知症の人が見ている世界(3)	文響社	川畑 智	2023	高齢者	介護の達人である理学療法士の川畑智氏が行う「病状の進行を予測し事前に対策を講じる介護の極意『先回りケア』」をマンガでわかりやすく紹介。認知症の病状の進み方や心理の変化や、それに先んじて対応する方法を学べる、深く実践的で、家庭でも役立つ知識が満載の認知症マンガの決定版。
11	60歳のトリセツ	扶桑社	黒川 伊保子	2023	高齢者	累計100万部突破「トリセツ」シリーズ著者の最新作！「一生」ってそういうことだったんだ…！若き日に読めば、一生の仕組みがわかる。60過ぎて読めばなお、人生の輝きが増す。老い、親子、夫婦、孫、友人、職場。いろんな「気になる」をせ〜んぶ捨てて自分史上最高の人生がスタート！64歳の脳科学者が伝えたい脳の秘密。

12	医療の外れで—看護師のわたしが考えたマイノリティと差別のこと	晶文社	木村 映里	2020	医療	生活保護受給者、性風俗産業の従事者、セクシュアルマイノリティ、性暴力被害者などが、医療者からの心無い対応で傷ついたり、それがきっかけで医療を受ける機会を逸している現実がある。医療に携わる人間は、こうした社会や医療から排除されやすい人々に対峙するとき、どのようなケアの態度でのぞむべきなのか。看護師として働き、医療者と患者の間に生まれる齟齬を日々実感してきた著者が紡いだ、両者の分断を乗り越えるための物語。誰一人として医療から外さないために。
13	部落差別解消推進法のトリセツ	大阪教育文化センター	大阪教育文化センター	2023	部落差別	大阪教職員組合が設立した教育研究機関発行の、部落差別解消推進法についての解説本。
14	「寝た子」はネットで起こされる—ネット人権進学と部落差別	福岡県人権研究所	川口 泰司	2023	部落差別	2016年「部落差別解消推進法」が成立・施行した。インターネットやSNSを悪用した差別の悪化・深刻化が立法事実となった。ネット上で拡散するデマや偏見。ネット版「部落地名総鑑」や部落出身者リスト、部落を撮影した動画や画像がアップされ、部落／出身者を「暴き」「晒す」差別扇動が続いている。もう、「寝た子を起こすな」論は通用しない。「寝た子」はネットで起こされる。全国水平社創立から百年を迎えた今、部落差別の現実、差別禁止法の必要性、ネット対策、人権教育のあり方について考える一冊。
15	ワタシたちはガイジンじゃない！—日系ブラジル人「笑い」と「涙」30年の物語	春陽堂書店	NHK「ワタシたちはガイジンじゃない！」取材班	2023	外国人	日系ブラジル人「笑い」と「涙」30年の物語。イッセー尾形が宮藤官九郎の脚本で一人芝居！NHK「ワタシたちはガイジンじゃない！」(放送人グランプリ2021優秀賞)を形作った、日系ブラジル人の貴重な体験談を書籍化。「労働」「生活」「公衆電話」「リーマンショック」「困難を乗り越えて」—日系ブラジル人たちが語る知られざる日本での暮らしとは。
16	関東大震災朝鮮人虐殺の真相—地域から読み解く	新日本出版社	関原 正裕	2023	外国人	百年前の痛ましい出来事。教科書には、「流言が広がる中、自警団などにより殺傷された」とある。では流言はなぜ流れ、また自警団とはどういう人々だったか。事実を認めず真相を「歴史家がひもとく」などとする政治家もいる中、埼玉で真相を探求してきた歴史家が、具体的物証とスケール大きな時代把握で解き明かす！
17	声をあげて	小学館	五ノ井 里奈	2023	その他の人権	震災を契機に自衛官を夢見た少女は入隊後、絶望を味わった。訓練中の性暴力を告発するも組織は黙殺。そして彼女は実名・顔出しでメディアに訴えることを決意したが……日本中に勇気を与えた五ノ井里奈の物語。
18	ユー。ジャニーズの性加害を告発して	文藝春秋	カウアン・オカモト	2023	その他の人権	ジャニー喜多川氏の性加害を実名・顔出しで告発して「山」を動かした元ジャニーズJr.、カウアン・オカモト氏。オカモト氏が赤裸々に明かす、ジャニーズ性加害の実態と、波乱の人生。
19	わたしたちはここにいる～マイノリティが、集まり、語り合う～	解放出版社	人権ネットワーク 東京 監修	2023	その他の人権	本書では「障害者」「人種／民族／部落」「ジェンダー／戸籍／DV被害」「貧困／ホームレス／階級」に関する諸問題を、のべ100名のマイノリティ当事者が4日間計20時間以上討議し、問題の所在と共闘のあり方を模索する。
20	四肢麻痺だからなに	太陽の家	山下 達夫	2023	障がい者	障がい者の自立や就労を支援する社会福祉法人「太陽の家」で、車いす利用者で障がいのある初の理事長となった山下達也さんの自伝。
21	夜空に虹を探して(絵本)	紺ぺき出版	豆塚エリ(文)／小島ひとみ(絵)	2023	障がい者	自殺未遂を経験した詩人で「死にたい気持ちが消えるまで」の著者の豆塚さんが文を担当。統合失調症を患う小島さんが絵を担当。周囲に理解されず、「痛み」の中で10代を過ごした2人の経験に元に、1人の女の子が抱える「痛み」や「葛藤」と、そこからの「解放」を表現した大人向けの絵本。
22	カビんくんとドンマちゃん—感覚過敏と感覚鈍麻の感じ方	ワニブックス	加藤 路瑛	2023	障がい者	「食べること。着ること。楽しむこと。僕(私)は、なぜ人と同じようにできないんだろう」。感覚過敏(カビんくん)と感覚鈍麻(ドンマちゃん)の2人が感じている困りごとをストーリー形式で追体験できる本。感覚セカイの「そうだったのか！」がわかる1冊です。著者は、感覚過敏研究所の所長であり、感覚過敏の当事者として発信を続ける現役高校生。
23	トランスジェンダー入門	集英社	周司 あきら／高井 ゆと里	2023	性の多様性	これまで「LGBT」と一括りにされることが多かった「T=トランスジェンダー」について、さまざまなデータを用いて現状を明らかにすると共に、医療や法律をはじめその全体像をつかむことのできる、入門書。トランスジェンダーについて知りたい当事者およびその力になりたい人が、最初に手にしたい一冊。
24	パパだけど、ママになりました—女性として生きることを決めた「パパ」が、「ママ」として贈る最愛のわが子への手紙	アスコム	谷生 俊美	2023	性の多様性	トランスジェンダーとしてテレビ局で働くということのリアルな姿を、「娘への手紙」という形式をとり、借り物ではない自分自身の言葉で平易に書いていき、谷生さんにしか生み出せない稀有な本。時に周囲や世間の心ない言葉に傷つけられながらも、自分らしく生きることを貫き、自分を支えてくれる周囲の人との絆を大切に結果、最愛のパートナーと娘と巡り会えたことは、奇跡であると同時に必然でもあったのだろう。